

III 学校経営方針

1 教育目標

憲法並びに教育基本法の定めに従い、民主社会の形成者にふさわしい知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。

2 校訓及び校風

校訓 「知性の啓培」「徳性の涵養」「体力の錬磨」 校風 「文武両道」

3 学校経営方針

- (1) 本校の歴史と伝統を継承・発展させ、生徒個人々の夢実現のための教育を推進する。
- (2) 生徒理解に努め、個性を大切にし、個性を伸ばす教育を推進する。
- (3) 部活動・社会奉仕活動等を奨励し、調和のとれた人格の育成に努める。
- (4) 教職員の研修を推進し、教師としての力量を高める。
- (5) P T A・同窓会・地域社会との連携を深め、信頼される学校づくりに努める。
- (6) 教育活動の成果を常に評価・反省し、積極的に学校改革に努める。

4 目指す生徒像

- (1) 自ら目標を設定し、達成に向けて主体的・計画的に取り組むことができる生徒
- (2) 自らの考えを、根拠を踏まえて論理的に述べることができる生徒
- (3) 自他を尊重しながら、他者と協働することができる生徒
- (4) 郷土について興味・関心があり、郷土理解に努める生徒

5 努力目標

- (1) 魅力ある学校・信頼される学校づくりに努める。
 - ① 本校の歴史と伝統の積み重ねを大切にし、学校の独自性をより明確にする。
 - ② 各学科の特色を生かし、生徒にとって楽しい魅力ある学校づくりに努める。
 - ③ 学校評議員、同窓会、関係団体、地域社会等、外部の教育資源を積極的に活用する。
- (2) 学力向上に努める。
 - ① 授業公開・研修等を行い、教員の授業力向上を図る。
 - ② アクティブラーニング等授業改善を行い、主体的・対話的で深い学びの実現に努める。
 - ③ 各種取り組みを通して自宅学習の習慣化を図る。
 - ④ 諸講座や必修模試等を実施し、基礎基本の定着と学習の応用・発展を図る。
- (3) 体力の向上に努める。
 - ① 日常生活の中で文武両道をベースにした粘り強い心と逞しい体をつくる。
 - ② スポーツの楽しさや喜びを味わわせ、自ら進んで実践する態度、能力の育成を図る。
 - ③ 運動能力の向上を図るとともに、心・技・体のバランスのとれた人間形成に努める。
- (4) 積極的な生徒指導を実践する。
 - ① 生徒理解に努め一人ひとりの健やかな成長を図るため個に寄り添った指導・支援を行う。
 - ② 品格アップを図るとともに、自ら学び考えより良い判断で行動できる力を高めさせる。
 - ③ 人権意識を高め自他の生命を大切にするとともに、危険回避能力を高めさせる。
- (5) 進路指導を充実する。
 - ① 自らの進路を選択し、その目標に向けて日々努力する態度を身に付けさせる。
 - ② 進路目標達成のため、学力の向上、模擬試験の活用、希望進路の早期決定等を図る。
 - ③ 保護者及び関係機関との連携を密にし、積極的な進路相談と進路意識の向上に努める。

- (6) キャリア教育を充実する。
- ① 学校教育活動全体を通してキャリア発達を促す教育実践に努める。
 - ② 探究学習やインターンシップ等、1年から3年生へ系統的に繋いでいく体制を確立する。
 - ③ 地域や産業界と連携を図り、社会的・職業的自立に向け、生きる力の育成に努める。
- (7) 教育相談を積極的に推進する。
- ① 早期発見・対応を図るため、サポート委員会を活用したチーム支援を計画的に進める。
 - ② スクールカウンセラー及び外部機関との連携を密に行うなど教育相談の充実を努める。
- (8) 図書、IT関連機器、視聴覚教材の充実とその利用に努める。
- ① 情報化社会に対応する図書館の機能を充実し、IT関連ソフト、視聴覚教材を整備する。
 - ② 読書指導と図書館の利活用を積極的に進める。
 - ③ HR教室と図書館・視聴覚教室・情報処理教室を有機的に結び、授業の改善充実を図る。
- (9) 職員研修を積極的に推進する。
- ① 県内外の先進校訪問や諸研修会への参加を奨励し、指導力向上と学校改革につなげる。
 - ② 学校活性化、課題解決等の研修を推進する。
- (10) 保健・安全教育を推進する。
- ① 自他の生命を大切にす保健・安全教育を推進する。
 - ② 薬物乱用防止教育、性教育、交通安全教育を強化する。
 - ③ 健康づくり、体力づくりに努める。
- (11) 美しい学園づくりに努める。
- ① 清潔で静かな緑の環境づくりに努め、心豊かな人間性を育てる。
 - ② 美しい環境作りを通して、勤労と奉仕の心を育てる。
- (12) 施設・設備の充実とその効果的運用に努める。
- ① 校庭の整備保持、施設設備の保全及び充実に努める。
 - ② セミナーハウスの効果的運用に努める。
 - ③ 施設設備検討委員会の充実を図る。
- (13) 国際化時代に対応する教育を推進する。
- ① 国際理解と協調のための各種行事を積極的に進め、国際人の育成に努める。
 - ② 県教育委員会の主催する人材育成事業を積極的に活用し、グローバル人材の育成を図る。
 - ③ 台湾の台北市立復興高級中學との姉妹校交流を効果的に進める。
- (14) 地域の文化理解と連携を深める。
- ① 地域の歴史と文化を理解し、その継承発展に努める。
 - ② 学校の計画と実践を地域に知らせ、理解と連携を深める。
- (15) P T A や同窓会及び関係機関との連携を深める。
- ① 学校の教育活動を本校のホームページやマスメディア等を通して家庭や地域に積極的に発信することにより、理解と連携を深める。
 - ② P T A の各種行事を開催し、活性化を図り連携を深める。
 - ③ 同窓会と連携し行事等の充実を図り、人材育成に努める。
- (16) 生徒・職員が生き生きとやりがいを持って教育活動に取り組む環境づくりを推進する。
- ① 生徒がバランスのとれた心身の成長と望ましい学校生活を送れるよう、適切な部活動の指導・運営に係る体制整備を図る。
 - ② 職員の負担軽減・業務改善を推進し、持続可能な学校指導・運営体制の構築を図る。